

「主体的・対話的で深い学び」の拡充を目指して

今年度から、東京都小学校書写研究会会長を拝命しました、土上智子(つちがみ のりこ)と申します。歴々の皆様が築き上げてくださった、伝統ある都小書研をさらに発展させるべく、努力してまいる所存です。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、この令和2年度は、新学習指導要領全面実施の年です。小学校書写においても、大きな変革の年となりました。運筆の能力を高めることをねらいとし、小学校低学年で、水書用筆等という、新たな用具が導入されることになりました。

そのような記念すべき年であるにもかかわらず、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように授業が行えない状況が続いています。本研究会においても、例年であれば、年度初めの総会の際に、提案授業及び講演会を行っていたのですが、今年度は、すべて取りやめ、規模を縮小して短時間で総会のみを行うことに相成りました。その後、こちらも短時間でしたが研究委員分科会を開催し、今年度の役割分担や研究授業の授業者を決めました。このような状況だから何もできないということではなく、このような状況下であっても、安全策を講じ、できることを行っていこうと思っています。2学期の研究授業においても、参観者にはリモートで見ただけなど、これまで通りとはいきませんが、研究委員を始めとする先生方の勉強の機会は確保していきたいと考えています。

本研究会は、今回の学習指導要領で取り上げられた水書用筆等について、その導入に至るまでに全面的に協力してきました。全日本書写書道教育研究会で、特別委員会を立ち上げ、その小学校部会において、研究及び検証を行う際、水書用筆等を実際に授業で使用しての効果検証は、本研究会が中心となって取り組んでまいりました。本研究会における分析結果に基づいて作成した報告書によって水書用筆等が導入されることが決定した、といっても過言ではありません。

このように、本研究会では、子供たちの学習や日常生活の根幹をなす「文字を書くこと」について、中心となって先進的な取り組みを行っています。それと同時に、書写の基礎・基本や本来あるべき指導法について、先生方に地道に伝えていくという活動も行っています。

今回の学習指導要領で言われている「主体的・対話的で深い学び」については、本研究会において、私が本会に入会した20年以上前、すでに児童主体の課題解決型の授業を展開していました。随所に対話的な活動を取り入れながら、児童が自分の書く文字について課題をもち、その解決に向けて練習をし、自己評価、相互評価を行い、身に付けた力を日常に生かすという流れは、本研究会におけるすべての研究授業で実践され、研修会においてもこれまで多くの先生方に伝えてきたものです。

しかし、毎年、本研究会主催の授業研究会や研修会に初めて参加される先生から、このように、児童が主体的に学習に取り組む書写の授業を初めて見た、というお声をいただくのも事実です。そのことから、学校現場では、まだまだ、いわゆる作品主義の指導が行われていることが推測されます。

そこで、より多くの先生方に、書写指導の目的と指導法を知っていただくために、本研究会では、5年ほど前から、東京都教職員研修センターとの連携研修を行っています。この研修会は大変好評で、毎年、募集人数一杯の申込みがあります。それに伴い、都小書研の組織を改変し、新たに「研修部」を立ち上げました。

研修部の活動について、ご紹介します。

【連携研修・夏季研修会の開催】

夏季休業中に、研修会を行っています。午前または午後に連携研修を行い、連携研修を行わない時間帯に

都小書研独自の研修会または講演会を行います。初めての先生方にもわかりやすいよう、書写指導の基礎・基本から丁寧に研修を行っています。また、新学習指導要領が示されたその年に、新たに導入された水書用筆の研修を行うなど、最新の情報提供も行っていきます。

詳しい案内は、毎年6月末頃に全校に配布しており、どなたでも参加できます。

【研修会等開催支援】

各地区で、書写の研修会や研究授業等を行う際のお手伝いをしています。

研修会等への講師派遣を承ります。各地区や学校の状況に応じて、大学教授や本研究会役員の中から御紹介いたします。また、研修会等で使用する資料についても、各種取りそろえておりますので、学びたい内容に応じて準備をすることができます。

教材、教具の貸出も行っていきます。御要望に合わせて準備することができますので、是非、御相談ください。

【書き初め研修会への講師派遣】

毎年、無料で書き初め研修会への講師の派遣を行っています。例年、年度当初に各地区に御要望を伺い、希望された地区の中から、2地区を選定し、各地区の日程に合わせて講師を派遣しています。また、選定にもれた地区であっても、御要望があれば講師を派遣することも可能ですので御相談ください。

本研究会では、これまで本研究会が積み上げてきたことをすべての先生方に知っていただき、日々の書写指導に生かしていただくことを切に願っております。

未だに、「自分は文字を書くことが下手だから、書写の指導は苦手」とおっしゃる先生方の声を耳にします。「自分ができること」と「子供たちに教えること」は、全く違います。先生方が何回も素敵な文字を書いて見せたとしても、子供たちが上達するわけではありません。先生方は、書写の指導事項を理解し、子供たち自らが課題に気付けるような授業を行えばいいのです。そして、書写で学んだことを子供たちが日常生活に生かせるようになることが、書写の大きな目標です。

本研究会では、今年度も先生方の苦手意識を払拭し、先生方に書写好きになっていただけるよう努めてまいります。

令和2年6月 土上 智子